

トピックス

ドコモが開発中の「軽量ディスプレイグラス」の試作機を公開 ～世界最軽量クラスとなる約 49g を実現。日常使いが可能なグラス型ウェアラブルデバイス～

株式会社 NTTドコモ(以下、ドコモ)は、開発を進めている「軽量ディスプレイグラス」の試作機を公開します。本試作機は、グラス型ウェアラブルデバイスです。USB Type-C 端子搭載、DisplayPort Alternate Mode 対応の Android™スマートフォンなどと、デバイスに付属のケーブルを接続するだけで、スマートフォンなどのコンテンツを大画面(4m 先を見た場合に約 100 インチ相当)で楽しむことが可能です。

長時間の着用が可能な世界最軽量クラス※¹ となる約 49g※² の軽量性と、眼鏡のように気軽に着脱でき、折り畳んでコンパクトに持ち運べる高い利便性を実現しました。日常で使えるグラス型デバイスとして、ミニマルなデザインとなっています。

また、ディスプレイはシースルー構造となっていて、装着時も周囲の状況を確認しながら自分だけの画面で仕事をしたり、動画を視聴しながら両手を使った作業をしたりすることが可能です。

軽量ディスプレイグラス試作機



フロントアタッチメントはワンタッチで交換可能



デザインと透過度の異なる 3 種類のフロントアタッチメントをワンタッチで交換でき、シチュエーションやコンテンツに応じて簡単に使い分けられます。

なお、本試作機については、2021年2月4日(木)から2月7日(日)まで、ドコモの最新技術を紹介するイベント「docomo Open House™ 2021」で紹介します。

◆「docomo Open House 2021」イベントサイト：(イベントはオンラインで開催します)

<https://docomo-openhouse-2021.jp/>

<軽量ディスプレイグラス試作機のスペック>

ディスプレイ方式	OLED
解像度	フル HD(1,920 × 1,080)
FOV	約 40 度
質量	約 49g (フロントアタッチメント、ケーブルを除く)
スピーカー	○ ステレオスピーカー
マイク	○
接続 I/F	USB Type-C (DisplayPort Alternate Mode)

ドコモは、本試作を通して日常使いが可能なグラス型デバイスの可能性を検討するとともに、今後も 5G の特性を生かして、多彩な周辺デバイスとそれらを活用したサービス・ソリューションによって新たな体験・価値を提供するマイネットワーク構想の実現に向けて、さまざまな取り組みを推進してまいります。

※1 フル HD の解像度で両眼表示が可能なグラス型デバイスとして。2021 年 1 月 29 日時点 当社調べ。

※2 ケーブル、フロントアタッチメントの重量を除く。

*「docomo Open House」は、株式会社 NTT ドコモの商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 NTT ドコモ

プロダクト部 プロダクト企画担当

xr-product-ml@nttdocomo.com